

まちの「今」をお届けします

かるたのまち山陽小野田

小中高連携かるた交流会

小野田高校小倉百人一首かるた部と竜王中学校が平成30年度から実施しているかるた交流会に、今年は本山小学校、赤崎小学校が加わり、10月13日、竜王中学校において、4校の児童生徒がかるたを通じて交流しました。高校生が競技かるたのルールや札の暗記方法等の説明とデモンストレーションを行った後、高校生对各学校の代表との対戦や中学生対小学生の試合を行いました。最後に小中学生は3人でチームを組み、高校生1人と対戦。高校生の札を取るスピードに苦戦しながらも、中には高校生に見事勝利するチームもありました。参加した児童は「さすがは高校生。強くて驚いた。来年から竜王中学校で共に過ごす仲間と交流ができてよかった。かるたの魅力を下級生にも伝えたい」と感想を述べました。



競技かるたの実演



高校生と対戦する小中学生



インフルエンザ流行シーズンに備えて 感染症対策を呼びかけ

今冬は新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が懸念されます。10月15日の年金支給日にあわせ、重症化しやすい高齢者に周知を図るため、市職員が市内の金融機関で啓発のチラシを配布。感染症対策の実践や早めのインフルエンザワクチンの接種を呼びかけました。



夢や感謝の想いを光にのせて 焼野でイルミネーション

小野田青年会議所(吉村公明理事長)は、10月17日から31日まで、きららビーチ焼野でイルミネーションを点灯。青少年の健全育成や思い出づくりのため、約6万球のLED電球と市内の全6年生が作成したメッセージ入りのペットボトルで海岸を電飾しました。メッセージには将来の夢や、家族への感謝などが込められました。